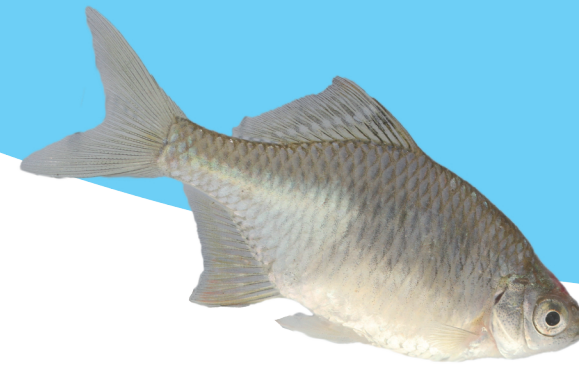




【21 世紀の森と広場】

千駄堀池 外来生物 調査結果報告

実施日：令和2年7月19日



千駄堀池 外来生物調査 結果報告

1 実施概要

千駄堀池は、古き良き松戸の自然を残すために、1993年に谷戸田の跡地に作られた人工池です。今ではヒメガマなどの抽水植物群落が形成され、水辺を好む鳥類や昆虫が多数見られるようになりました。しかし、カダヤシやブルーギル、オオクチバスなどを始めとする様々な外来生物が侵入し、地域の自然が脅かされるとともに、水も汚れてしまいました。そこで、今後の外来生物対策を検討するため、池の水を抜いて生きもの調査を行いました。また、今回はテレビ東京系列の人気番組『緊急SOS！池の水ぜんぶ抜く大作戦』にもご協力いただき、松戸の貴重な自然や抱えている課題、保全の重要性について、全国に向け普及啓発を行うことができました。

実施日：令和2年7月19日(日)
松戸市 公園緑地課 21世紀の森と広場管理事務所



面積が約5.0ha、深さ最大約1.0mの、平成5年に作られた人工池です。夏季の水抜きは生きものに負担がかかるため、今回は全ての水を抜かず作業を行いました。

2 当日の様子



松戸市の職員計80名が池に入り、捕獲係・運搬係に分かれ作業を実施。たも網を使って、小さな生きものも丁寧に捕獲。水を入れた桶に魚を入れ速やかに運搬。

3 捕獲した生きもの

POINT / ヨシやガマなどの水草が、在来種のかくれがになっ
ているようです。適度に水草を管理することが大切です。

在来種 元々この地域にいた生きもの

 ★モツゴ 412 個体	 ★ギンブナ 111 個体	 ★ヌマチチブ 3 個体	 ヨシノボリのなかま 5 個体	 ★ナマズ 1 個体
 ★スジエビ 870 個体	 ★テナガエビ 310 個体	 ★モクズガニ 2 個体	 コオニヤンマのヤゴ 1 個体	<small>※人が持ち込んだ可能性もあります。</small>

★マーク：千葉県の絶滅危惧種

外来種 人が持ち込んだ生きもの

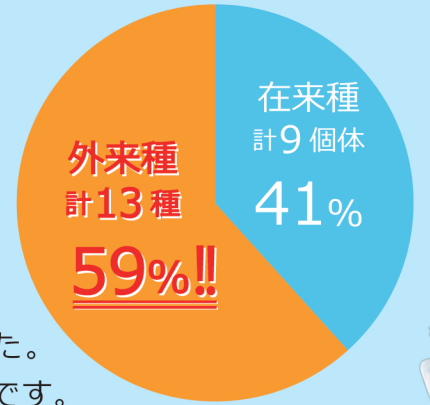
POINT / カメ類、オオクチバス、ブルーギル、コイは故意に放流された可能性が大。その他は放流か、川から入った可能性もあります。

 リバークーターのなかま 4 個体	 ミシシッピアカミミガメ 4 個体	 クサガメ 1 個体	 ◆ウシガエル(幼生) 19 個体	 カワリヌマエビのなかま 1 個体	 ◆カダヤシ 10 個体
 ◆オオクチバス 84 個体	 カムルチー 8 個体	 ◆ブルーギル 570 個体	 コイ 9 個体	 タイリクバラタナゴ 3 個体	
 スゴモロコ※ 2 個体	 ツチフキ※ 11 個体	<small>※スゴモロコ、ツチフキは国内外来生物</small>			

◆マーク：特定外来生物

4 調査結果・考察

捕獲された外来種は13種で、種数は在来種の1.5倍でした。その内4種が特定外来生物であり、池の生態系は危機的な状況です。また、今回は完全に水を抜いておらず、池底の天日干しも行ってないため、外来魚類の根絶には至りませんでした。更に、カメ類やウシガエルのように天日干しでは駆除できない生物もいます。今後は①かいぼり ②天日干し ③陸に上られる外来種の捕獲を継続的に行う必要があります。そして「生きものを放さない・持ち込まない」というルールを多くの人に守ってもらうことも大切です。



捕獲した外来種・在来種の種数比率

